

5. 霊的な視点を発展させる

エペソ人への手紙 1章3節

私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神はキリストにあって、天にあるすべての霊的祝福をもって私たちに祝福してくださいました。

クリスチャンは二つの場所の人民です。それは、地球と天国です。

多くのクリスチャンは、自分が欲しいものはすべて持って、この地上での生活をとても愛しているので、そんなに天国を楽しみにしていません。健康やお金や幸せの教えは、クリスチャンが全てを持てると教えるので、”良い生活”を可能な限り必死になって得ようと努力しています。

パウロは、私たちに思い出させます。私たちの愛とゴール、そしてあらゆる選択と行動は、地上ではなく天国に焦点をあて、地上の喜びではなく天で価値のあるものを現すことができるのだと。

けれども、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。(ピリピ3：20)

こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。(コロサイ3：1-2)

私たちは罪によって汚れた世界で、いつも腐敗や墮落に対して闘わなければなりません。しかし神様は私たちに希望を与えて下さっています。私たちに天のあらゆる霊的な祝福、特権（天国でも地上でも礼拝できる幸い）を与えて下さっているのです。ゴールをもっとも大切な天の事柄から以外にしないように注意しましょう。

あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、また私を信じなさい。私の父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言うておいたでしょう。あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたもおらせるためです。

(ヨハネ1：1-3)

世と世の欲は滅び去ります。しかし、神のみこころを行う者は、いつまでもながらえます。

(1ヨハネ2：17)

「見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。」(黙示録21：3-4)

「事は成就した。わたしはアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。わたしは、渇く者には、いのちの水の泉から、価なしに飲ませる。勝利を得る者は、これらのものを相続する。わたしは彼の神となり、彼は私の子となる。(黙示録21：6-7)

お祈り：天のお父さん、天国に私の住まいがあることを感謝します。
今は隠されている偉大な来たるべき世の価値を見上げ続けることが出来ますように。イエス様のお名前によって、アーメン。

